

- T-Tを実施している回答者が少ないため、傾向は適切につかめない。人数でみると小学校では「体育」が突出し、中学校では比較的「体育」と「外国語」に集中し、高等学校では全教科にわたっている。

1. どの学年を対象に実施していますか。(複数回答可)

<表4-5> 対象学年

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	回答者数
小学校	13人	23	6	5	9	9	47人
中学校	7人	7	8	—	—	—	17人
高等学校	8人	6	6	—	—	—	16人

- 小学校では、主に低学年で、中・高等学校では、1学年から3学年まで同程度に行われている。

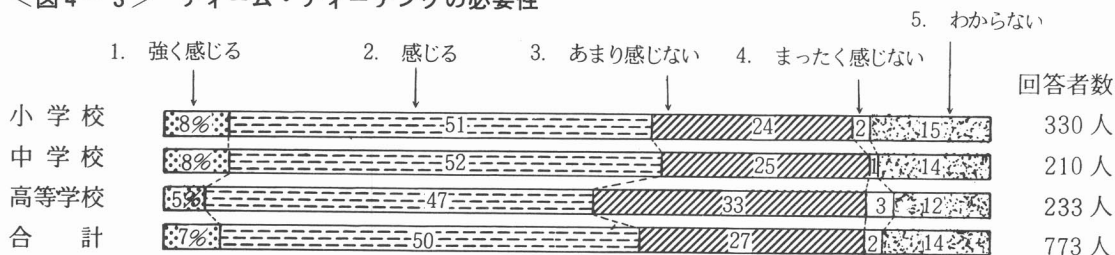
ウ. チーム・ティーチングによる指導を実施しての効果と問題点について、お気づきの点がありましたら書いてください。

- 効果としては、「教材研究が深まる」、「個別指導の時間がとれる」、「能力に応じた指導ができる」、「指導者の個性が活かせる」があげられており、問題点としては、「打ち合わせの時間が不足する」、「指導内容、方法の共通理解を図ることが難しい」、「グループ分けが難しい」があげられていた。

③ チーム・ティーチングを実施していない方は、教えてください。

ア. その必要性を感じますか。

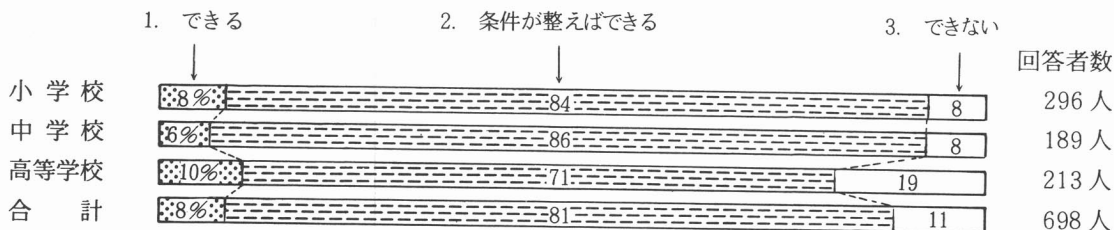
<図4-3> チーム・ティーチングの必要性



- 小・中・高等学校とも回答者の半数以上がその必要性を感じている。しかし、「あまり感じない」の回答者も約4分の1と意外に多い。

1. チーム・ティーチングを実際に導入できると思いますか。

<図4-4> 導入の可能性



- チーム・ティーチングを導入するためには、いろいろな条件が必要であると思われるが、否定